

JRが在来線運営「59%」

新幹線問題で住民アンケート

北陸新幹線（以下「4年」とする）の運行に東海旅客鉄道（東海旅客）の在来線（北陸線）のあり方を考える市民グループ「公共交通をよくする富山の会」が、市内の沿線住民を対象にアンケート調査したところ「経営分離に反対」とする回答が6割に上ったことが分かった。

同会が13日、富山市内で開いたシンポジウム「JRに期待される役割は？」で明らかにした。アンケートは前年度で、今年4～5月、市内の北陸線全線の周辺で3178戸に用紙を配布、524戸から回答があった。

同会によると、並行在来線に対するJRの役割について尋ねる設問では「JRは経営分離せず、引き続き経営や運行を行うべきだ」とする回答が59.6%、

の経営に両けた支援制度を充実させる」が31.9%、積極的な関与を求める意見が多かった。

また、「JRから第3セクターに移った場合の運営については、「経営安定のためには運営が強化されるのもやむを得ない」が20%だったのに対し、担当が新幹線のせいで在来線の運営が上がるのはおかしい」と答えた。

同会は13日午後7時からJR富山駅前のCICビルでシンポジウムを開き、アンケート結果をもとに北陸線のあり方を議論する。



北陸新幹線開通後の並行在来線のあり方について考えるシンポジウム。富山市で。

JRから経営分離6割が「反対」

北陸新幹線開業後にJRから経営分離される並行在来線（北陸線）のあり方を考える市民グループ「公共交通をよくする富山の会」が、市内の沿線住民を対象にアンケート調査したところ「経営分離に反対」とする回答が6割に上ったことが分かった。

同会が13日、富山市内で開いたシンポジウム「JRに期待される役割は？」で明らかにした。アンケートは前年度で、今年4～5月、市内の北陸線全線の周辺で3178戸に用紙を配布、524戸から回答があった。

同会によると、並行在来線に対するJRの役割について尋ねる設問では「JRは経営分離せず、引き続き経営や運行を行うべきだ」とする回答が59.6%、

新幹線並行在来線

経営分離に6割反対

沿線で住民アンケート 富山の市民団体報告

北陸新幹線の開業で、富山の会が主催、約40人から出席した。アンケートは同会が沿線住民を対象に、5月12～13日、約500戸から回答を得た。

JRが果たすべき役割は「引き続き並行在来線の経営や運行を行うべきだ」が59.6%、「経営分離後も経営や運行にかかわるべきだ」が31.9%だった。同会事務局の富山美



北陸新幹線開通後の並行在来線のあり方について考えるシンポジウム。富山市で。

シンポジウムは「北陸線はどんなふうにするか」と「JRに期待される役割は？」と題し、市民団体「公共交通をよくする富山の会」が主催、富山美

並行在来線の経営で市民アンケート

「JRは経営分離せず、引き続き経営や運行を行うべきだ」とする回答が59.6%、

「経営分離後も経営や運行にかかわるべきだ」が31.9%だった。同会事務局の富山美

「JRは経営分離せず、引き続き経営や運行を行うべきだ」とする回答が59.6%、

「経営分離後も経営や運行にかかわるべきだ」が31.9%だった。同会事務局の富山美